



□ — 「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を—

□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和4年7月20日発行 vol.85



<目次>

ホカグリ情報局

■■□■□■□■□■□■□<ホカグリ情報局>■■□■□■□■□■□■□■

(1) みどりの食料システム法に関する北海道ブロック説明会の御案内  
▽みどりの食料システム戦略を実現するための法制度である「みどりの食料システム法」が、令和4年7月1日に施行されました。本法律は、みどりの食料システム戦略の実現に向けた基本理念を定めるとともに、環境負荷の低減に取り組む者の計画を認定し、税制・金融等の支援措置を講ずるものです。今般、制度の本格運用に先立ち、制度の趣旨と仕組み、運用の考え方(国の基本方針(案)の概要等)や今後の進め方等について御理解いただき、制度の活用を推進していく観点から、北海道ブロック説明会を7月28日に開催します。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suisin/kikaku/220719.html>

内 容：みどりの食料システム法及び基本方針(案)について

日 時：令和4年7月28日(木曜日)10時30分から12時30分

方 法：対面及びWeb形式(Zoom)

会 場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3階 ホール3A(札幌市北区北7条西2丁目9  
ベルヴェオフィス札幌)

申込締切：7月26日(火曜日)12時00分

下記 URL からお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/greenconcernedam.html>

(2) 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた技術的支援オンラインセミナーの御案内  
▽北海道農政事務所と国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部の協力の下、みどりの食料システム戦略の実現に向けた技術的支援を目的にオンラインセミナー(第3回)を7月29日に開催します。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suisin/kikaku/220714.html>

第3回

内 容：みどりの食料システム戦略の実現に資する北海道立総合研究機構の技術  
日 時：令和4年7月29日（金曜日）13時30分から14時45分  
方 法：Web形式（Zoom）  
定 員：90名  
申込締切：7月26日（火曜日）12時00分

下記 URL からお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/0729.html>

第1回の開催内容は下記 URL から御覧ください。

[https://www.maff.go.jp/hokkaido/photo\\_repo/220614.html](https://www.maff.go.jp/hokkaido/photo_repo/220614.html)

第2回の開催内容は下記 URL から御覧ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suisin/kikaku/220609.html>

### （3）「夏休み子ども体験デー」の御案内

▽北海道農政事務所は、林野庁北海道森林管理局、国土交通省北海道開発局とともに、北海道の基幹産業である農林水産業に関する体験を通して、親子のふれあいを深め、夏休みに広く社会を知ってもらうことを目的に、小学生を対象とした「夏休み子ども体験デー」を8月5日に開催します。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suisin/kikaku/220707.html>

日 時：令和4年8月5日（金曜日）

午後の部：13時00分から15時30分

会 場：北海道森林管理局1階フロアー（札幌市中央区宮の森3条7丁目70番）

定 員：午後50名（午前の部は定員に達したため、参加申込を終了しました。）

下記 URL からお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/0805.html>

### （4）令和4年度「受け継ぎたい北海道の食」動画コンテストの御案内

▽北海道農政事務所は、地域住民自らが地域の食文化や食材の魅力に気づき、それらを守り伝え続けてきた方々の技、真摯で活気ある姿を広く発信していくために未来へ受け継いでいきたい北海道の食のおいしさと技術、食材の魅力、そして、その熱意ある背景を伝える動画を広く募集します。

申込締切：令和4年11月24日（木曜日）必着

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/syokuryo/keikaku/220701.html>

### （5）「ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証」の御案内

▽国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）は、ペレット堆肥の活用による広域的な耕畜連携を推進するため、実証地区の公募を行っています。原料堆肥を供給する畜産農家、ペレット化施設、耕種農家との間での効率的な製造・物流システムの構築や、ペレット堆肥の帰り荷として用いる敷料探索等、現場での技術開発・実証を公募します。

農研機構 Web ページ

[https://www.naro.go.jp/project/research\\_activities/laboratory/naro/153846.html](https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/153846.html)

説明動画 (YouTube)

<https://youtu.be/oZKhALFPRXA>

申込締切：7月27日(水曜日)12時00分

○お問合せ先

＜農林水産省＞農林水産技術会議事務局研究推進課

電話番号：03-3502-7437

メールアドレス：[smart\\_agri@maff.go.jp](mailto:smart_agri@maff.go.jp)

＜農研機構＞スマート農業事業推進室

メールアドレス：[R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp](mailto:R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp)

(6)「スマート農業技術活用産地支援事業」の御案内

▽国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)は、農業の国際競争力の強化に向けて、先端技術を活用したスマート農業の社会実装を加速化し、人口減少社会を迎えて脆弱化が懸念される国内の食料生産基盤の強靱化を図るため、スマート農業実証プロジェクト参加者を中心としたスマートサポートチームが、支援を希望する産地を対象に指導を行うとともに、その結果を踏まえて技術導入・活用する際に参考となる手引き書を作成する取組を公募します。

農研機構 Web ページ

[https://www.naro.go.jp/project/research\\_activities/laboratory/naro/153812.html](https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/153812.html)

説明動画 (YouTube)

<https://youtu.be/CTAkdPPQo-A>

申込締切：7月27日(水曜日)12時00分

○お問合わせ先

＜農林水産省＞農林水産技術会議事務局研究推進課

電話番号：03-3502-7438

メールアドレス：[smart\\_agri@maff.go.jp](mailto:smart_agri@maff.go.jp)

＜農研機構＞スマート農業事業推進室実装チーム

メールアドレス：[SmaNou-shien@naro.affrc.go.jp](mailto:SmaNou-shien@naro.affrc.go.jp)



▽北海道農政事務所の各地域拠点では、Webサイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

○函館地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/index.html>)

○旭川地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/index.html>)

○釧路地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/index.html>)

○帯広地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/index.html>)

○北見地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>)



=====

<編集後記>

マジックができるようになりたいです。トランプマジックなども格好良いですが、コインやスマホなど、その場にあるものでさらっとできるのもっと良いと思います。羨望のまなざしを浴びること間違いなしです。しかしマジックを覚えようとするれば、その分トリックを知ってしまうため、マジックを見て楽しむことは難しくなります。格好つけたい欲とマジックを見て楽しみたい欲。どちらを優先するべきでしょうか。難しい2択ですがしばらくは格好つけることを諦め、マジックを見て楽しむことにしましょう。

ということは、格好つける別の手段を考えなければいけませんね。何かあれば教えてください。

(担当：加藤)

=====

◇次回は7月下旬に配信予定です。

◇北海道農政事務所メールマガジン「ホカグリ通信」では、配信登録者を募集しています。ぜひお知り合いにもご紹介ください。

◇メールマガジンの配信をご希望の方はこちら

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

◇バックナンバーはこちら

[https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok\\_agri\\_tsuushin.html](https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok_agri_tsuushin.html)

=====

編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

TEL:011-330-8801 FAX:011-552-0530

E-mail : hokaguri\_tsushin000@maff.go.jp

